

[日本ファンドレイジング大賞・運営規定]

第1条 (賞の名称)

本賞は、日本ファンドレイジング大賞と称する。

第2条 (目的)

この規則は、日本の市民団体の資金獲得の創造に貢献し、その功績が著しいもの及び市民団体の模範となるべき活動をしたものを表彰することにより、日本の寄付文化の革新への取組の促進を図ることを目的とする。

第3条 (選考対象)

1. 本賞の選考対象は、日本の寄付文化の革新に貢献した事例であることとし、表彰は、次の各号のいずれかに該当する団体及び事業所(法人格の有無を問わない)に対して行うものとする。自薦および他薦を含む。

2. 選考対象は、実施前年の12月31日までに日本国内に活動拠点を有する団体での活動事例に限るものとする。

3. 前条に掲げるもののほか、実行委員会が特に必要と認めるもの

第4条 (表彰の内容)

表彰の内容は、次に掲げるとおりとする。

(1) 日本ファンドレイジング大賞 前条第1項各号のいずれかに該当するもので、その功績が特に顕著なものを表彰する。

(2) 特別賞 前条第3項に該当するものを表彰する。

第5条 (応募等の方法)

表彰を受けようとする団体等の応募又は推薦は、応募・推薦にあつては日本ファンドレイジング大賞応募用紙(第1号様式)により、実行委員会が定める日までに行う。

第6条 (選考)

被表彰者の選考は、別に定める期間に応募又は推薦のあった団体等のうちから行う。

2 被表彰者は、日本ファンドレイジング協会・理事会によって組織された実行委員会選考会で審査し、代表理事が決定する。

第7条 (委員会の権限)

本規定の解釈、運用については、実行委員会がその権限として誠実にこれを執行する。また、本規定において想定していない状況が発生した場合においても、実行委員会は自らの判断でその問題を解決する権限および義務を有する。

第8条 (委員会の義務)

実行委員会は、自ら行った決定について、その内容を会員に対して公開する義務を負う。また、会員より質問を受けた場合にも、可能な限り回答を行う義務を有する。ただし、公開もしくは回答を行うことによって審査の公正が失われると判断した場合は、この限りでない。

第9条 (表彰の方法)

表彰は、第6条に規定する手続により決定された団体等に対し、表彰状を授与してこれを行う。

2 表彰は、年1回とし、代表理事が別に定める日に行う。

第10条 (改正)

本規定の改正は、実行委員の過半数の賛成を必要とする。

第11条 (雑則)

この規則に定めるもののほか、必要な事項は、代表理事が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

平成21年11月1日制定